



螺湾小学校 2025 年度全体テーマ

主体的に深く学ぶ児童の育成ー「協働（協同）と創造」を生みだす授業の追求ー



足寄町立螺湾小学校



校舎の向かい側、まさに大自然に囲まれています



学校前には動物（シカ）の足跡も

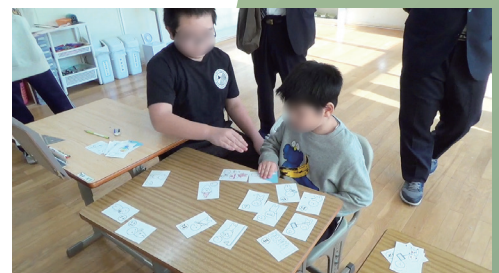
螺湾小学校は小規模複式学校です。当日は次のプログラムで研究授業や研究会が行われました。内容等については次の通りです。

◎3・4 時限目 中学年（3・4 年生／児童 2 名）

異学年同内容の複式授業

◎『全国看図アプローチ研究会研究誌』19 号掲載の田中岬先生実践（2023,pp.11-34）をベースにした「きゅうちゃんカルタ」づくり

この授業は学習指導要領「国語 3・4 年」2 内容中の「知識及び技能」(1)「オ 様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中でつかう……」を目標にしています。以下の 2 時限配当で行われました。授業者は鹿内信善先生です。上掲田中岬先生実践 (2023) の結果を追認する楽しく活発な言語活動の授業になりました。



きゅうちゃんカルタ制作とカルタ大会の様子

◎5 時限目 高学年（5・6年生／各々5名・1名）
異学年同内容の複式授業

授業者は螺湾小学校教員の森岡達昭先生（本研究会会員）です。テーマは「ユニバーサルデザインの理解」です。ピジュアルテキストは森岡先生が自作したものです。

鹿内（2015, pp.62-70 および pp.125-130 参照）と同様の展開で授業が行われました。鹿内（2015）の授業では学習者は大学生でした。森岡先生の小学生を対象とした授業でも、鹿内（2015）と同等の学習者反応が得られました。看図アプローチの汎用性の高さを追認する貴重な実践となりました。

3・4 時限目の鹿内先生実践および 5 時限目の森岡先生実践は『全国看図アプローチ研究会研究誌』論文としてまとめ、みなさまにも検討していただく予定です。



写真の読み解きを共有する児童たちの様子、とてもにぎやか

◎6 時限目 螺湾小学校全教員を対象とした研究会（ワークショップ）

6 時限目は螺湾小学校全教員を対象とした看図アプローチ入門ワークショップを行いました。小規模校ですので、参加者は校長先生・教頭先生を含めて 6 名です。人数こそ少ないものの、贅沢で豊かな研究会になりました。内容は、「ものこと原理」等の看図アプローチ基礎理論および最近開発した「解剖学」の看図アプローチ授業です。

質疑応答タイムでは、道徳教育への応用法についての質問がありました。これに対しては「対立」があり、かつ「多様な読み解き」を許容する」きゅうちゃん絵図を用い、わかりやすい回答が示されました。道徳という善・悪や正解・不正解のどちらかを選択しなければならないと思われがちですが、どちらの立場・視点からも見ていく力を育成することが肝心です。この道徳授業に関する質疑応答もワークショップ形式で行われました。

校長先生からは「目標と評価の一体化」についての質問をいただきました。これに対してはすでに用意してあった「目標・形成的評価・非認知領域の評価」に関するスライドを用いて具体的に丁寧な回答がなされました。

本当に元気いっぱいな螺湾小学校の児童たち、熱意あふれる先生方に囲まれた、いきいきとした研究会になりました。ありがとうございました。



【文献】

鹿内信善 2015 『協同学習ツールのつくり方いかし方ー看図アプローチで育てる学びのカーー』ナカニシヤ出版

田中 岬 2023 「きゅうちゃんでかるたづくりー看図アプローチによる特別支援学級での教科等横断的学習ー」『全国看図アプローチ研究会研究誌』19 号 pp.11-34

